

九州帝国大学新聞

<https://hdl.handle.net/2324/1520456>

出版情報：九州大学新聞. 269, 1943-10-20. 九州帝国大学法文会新聞部
バージョン：
権利関係：



學生諸子に告ぐ

局長 荒川 文 六



大東亜戦争は、人類の歴史に空前的な大規模な戦争として刻み込まれた。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。

學生徒出陣

我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。

送別の言葉
九州帝國大學交際會
菊池勇夫

大東亜戦争は、人類の歴史に空前的な大規模な戦争として刻み込まれた。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。

心を送る
市之見

九大は戦ふための
かたしを思ふに

學徒の行くを送る
高木市之助

大東亜戦争は、人類の歴史に空前的な大規模な戦争として刻み込まれた。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。

學徒出陣に寄す
藤野理一郎

大東亜戦争は、人類の歴史に空前的な大規模な戦争として刻み込まれた。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。

征く人を
古賀克孝

大東亜戦争は、人類の歴史に空前的な大規模な戦争として刻み込まれた。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。

征く友を送る
平光 吾一

大東亜戦争は、人類の歴史に空前的な大規模な戦争として刻み込まれた。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。

ただの一言
下田光造

大東亜戦争は、人類の歴史に空前的な大規模な戦争として刻み込まれた。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。

身の内毛は
國家のためのみ
宮崎鐵太郎

大東亜戦争は、人類の歴史に空前的な大規模な戦争として刻み込まれた。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。

學徒出陣に寄す
矢崎美盛

大東亜戦争は、人類の歴史に空前的な大規模な戦争として刻み込まれた。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。

歌の夫良益
也勝岡竹

大東亜戦争は、人類の歴史に空前的な大規模な戦争として刻み込まれた。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。

大日本年表

大東亜戦争は、人類の歴史に空前的な大規模な戦争として刻み込まれた。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。

修訂 日本文化と佛教

大東亜戦争は、人類の歴史に空前的な大規模な戦争として刻み込まれた。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。

新英英大辭典
Idiomatic and Syntactic English Dictionary

大東亜戦争は、人類の歴史に空前的な大規模な戦争として刻み込まれた。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。

版重及刊新・堂京東
經濟原論 上巻

大東亜戦争は、人類の歴史に空前的な大規模な戦争として刻み込まれた。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。我々の青年は、この偉大な戦いに、如何に貢献すべきか、如何に責任を担ふべきか、を問はれてゐる。

富山房

政治と思想
平田篤胤歌文集
北村澤吉別稿
五山文庫史稿
平家物語諸本の研究

東堂新刊重版

經濟原論 上巻
歌舞伎史の研究
信念の書
防人の歌
四天雲晴

修訂 日本文化と佛教

大日本年表

新英英大辭典

Idiomatic and Syntactic English Dictionary
東大教授 市河三喜博士序
A. S. Hornby 共編
E. V. Gatenby
A. H. Wakefield

本日評論新刊版

日本經濟刑法概論
獨逸中世史の研究
原價計算論研究
獨逸社會政策思想史
獨逸社會政策思想史
獨逸社會政策思想史

祝出陣

學生諸君の 壯途を祝ぎて

重松俊章

大學生たる 矜持と自覺を持て

堀 豊彦

學徒出陣に寄す

宮本 又次

大學の叢知

田中 晃

出陣の餞

水松土己

任務をつくせ

楠 本正繼

壯行 今井 弘

征く諸君!

宇賀田 順三

之許乃美多豆

吉町 義雄

文武一如

遠城寺 宗徳

老骨に鞭打たん

君島 武男

應召の諸君を送る

不破 武夫

學徒出陣

中 晃

學徒を送る

世多野 勇



祝學徒出陣
法文會會長 柳澤 實
作(一)

二人の兵隊の話

舟橋 聖一

學徒の出陣を祝ふ

中 正一

君を祝ふ

張 汝 彦

君を送る

河 村 又 介

君を送る

河 村 又 介

學徒の出陣に寄す

宮本 又次

大學の叢知

田中 晃

出陣の餞

水松土己

任務をつくせ

楠 本正繼

壯行 今井 弘

征く諸君!

宇賀田 順三

之許乃美多豆

吉町 義雄

學徒を送る

世多野 勇

畫家と軍人 武藤智雄

武藤智雄君は、東京府三鷹町に生れた。幼少より、父の武藤武吉君の指導を受け、絵画の道に進む。...

若さ 吉岡修一郎

若さとは何ぞや。それは、心身の健康と、知識の豊富さ、そして、行動の果敢さである。...

千有餘學徒總蹶起の秋

陸軍は十一月一日入營、海軍は十一月十日入團。千有餘の學徒が、この秋、大規模な行動に出る。...

學生課主催

大講演會開催さる

學生課主催の大講演會が、十一月十日に開催される。講演者は、各界の著名者である。...

一喜一憂する勿れ

一喜一憂する勿れ。人生は常に喜びと憂いの中で進んでいく。冷静な判断が求められる。...

知識人の誇りを堅持せよ

岡橋保

知識人は、社会の良心である。誇りを堅持し、正義を叫ぶべきである。...

學徒出陣に寄す

松枝茂夫

學徒の出陣は、国家の未来を担う者たちの決意の表れである。勇気を持って進めよ。...

懼れず侮らさ

小林榮三郎

懼れず侮らさ。困難な状況に直面しても、怯むことなく、侮らさず立ち向かえよ。...

征く學生諸兄へ

高木陽哉

征く學生諸兄へ。戦場の厳しさを心得、同志と共に戦えよ。勝利は必ずや我らに在る。...

久長運武前

三修村木

征け而して勝て

司書官 櫻井匡

征け而して勝て。勇気と団結が勝利の鍵である。前を向いて進めよ。...

鹿島主、泣き

金田平一

鹿島主、泣き。戦場の悲劇は、誰の心にも響く。平和を望む者たちの涙である。...

惜別

岡本順一

惜別。別れの時は、涙と勇気の両方がある。同志を思いやり、戦えよ。...

征途を祝す

吉井甫

征途を祝す。遠征の途程は長く、困難も多いが、必ず成功する。祝す。...

出陣の學徒に祈る

生井武文

出陣の學徒に祈る。無事の出陣と、勝利の凱歌を祈る。同志と共に戦えよ。...

寄陣出徒學

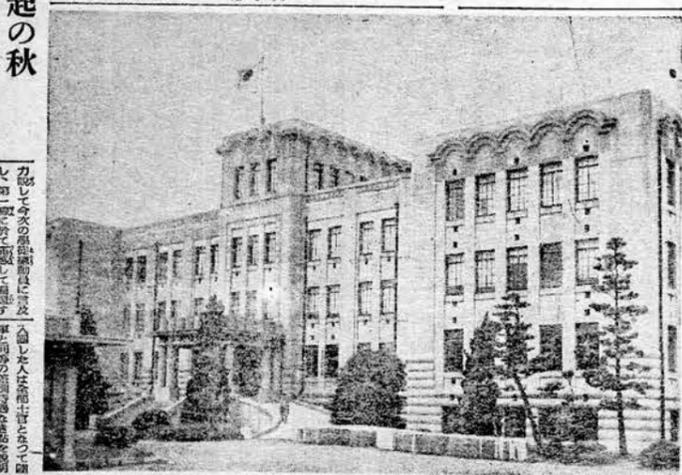
草影橋柳

寄陣出徒學。戦場の厳しさを心得、同志と共に戦えよ。勝利は必ずや我らに在る。...

聖代に生を受けて

紫舟

聖代に生を受けて。この時代に生かされた者は、責任を背負って戦えよ。...



堅確なる精神と 旺盛なる志氣を 吉川大佐談

法文會總務部挨拶

出陣の秋

出陣の秋

出陣の秋

學徒總蹶起の秋 高戸中尉は早

勝利の鍵を説く

法文會總務部挨拶

出陣の秋

出陣の秋

出陣の秋

出陣の秋

